

飯田OIDE長姫高

学びやすい環境作り支援を

同窓会定期総会

飯田OIDE長姫高校同窓会の「第12回定期総会」が10日、飯田市内であつた。23年度事業報告、同収支決算、10周年記念事業報告、24年度同決算報告、24年度事業計画案、同収支予算案の計6議案を原案通り承認した。総会後は同校の部活動の発表で会場が盛り上がりがつた。

昨秋は旧飯田長姫と旧飯田工業の両校が統合し新校となつてから10年の節目を迎え、統合創立10周年記念式典をはじめとする記念事業開催のほか、ラグビー部の全国高校ラグビー大会出場などで盛り上がった一年だった。須山同窓会会长はあいさつの冒頭で「会

員の皆さんの協力の行うことができた」下、これらを盛大にと感謝。本年度は通

常の会運営に戻ることから「腰を据え、地に足を付けた運営

を心がけていく中で、新規事業として会員相互の融和と親

睦を深めるゴルフコンペのイベント化を目指したい」と提案した。学校に対する引き続き「生徒た

は引き続き「生徒たちが学びやすい環境を支援していきたい」とし、協力を求めた。



飯田OIDE長姫高校同窓会の定期総会

昨年度は創立10周年事業として、校歌の吹奏楽演奏用の楽譜贈呈、校歌碑建

立、10人乗りワゴン車贈呈、記念式典開催、ラグビー部の花園出場に伴う寄付金集めなどに取り組んだ。

本年度は春、秋ゴルフコンペの位置づけの変更、国レベル出場事案に対する激

励会などの学校支援事業を新規事業として24年度事業計画に盛り込んだ。

総会後は同校原動機部の鈴鹿11連勝の記録やパソコン制御部のテックレンジャー・ショー、吹奏楽部の校歌演奏の発表があつた。

同窓会の定期総会が開催されました

キャリア学習の日

3年生の就職希望者は地元企業の説明会に参加しました

高卒人材の採用意欲強く

高3生対象
企業説明会

上伊那の高校も初参加

務内容を説明。休みなど福利厚生の充実に努めていることも

澤孝輔さん(17)は「企業の知らなかつたことが分かり、具体的なイメージを持てた。就職への選択肢が広がり、自分の得意なことを生かせる企業を見つけられたら」と話した。

同協会は「応募の多さから高卒人材の採用意欲の高さがうかがえる」とし「生徒数が減る中で、飯伊以外からも受け入れ、参加生徒を増やしていく」としている。

飯田職業安定協会とハローワーク飯田は4日、高校3年生を対象にした企業説明会を飯田市座光寺のエス・バードで開いた。飯田下伊那地域のほか、上伊那の高校も初めて参加し、8校から約250人が参加。飯伊の80事業所から仕事内容や募集職種について説明を受けた。

就職を希望する高校生に地元企業を知つてもらおうと開き、今年で4年目。生徒たちは事前に人出不足で若手人材確保への動きが強まる中、定員を会場制限ぎりぎりの80社に設定。ネットでの受付開始4時間で定員に達し、96社から応募があった。

選んだ事業所のブースで20分間の説明を受けた。多くの事業所で話を聞けるようとにとフリータイムも設け、1人最大5社のブースを巡った。

事業所はモニター



エス・バードで開いた企業説明会

飯田OIDE長姫高校機械工学科の平澤孝輔さん(17)は「企業のイメージを持てた。就職への選択肢が広がり、自分の得意なことを生かせる企業を見つけられたら」と話した。同協会は「応募の多さから高卒人材の採用意欲の高さがうかがえる」とし「生徒数が減る中で、飯伊以外からも受け入れ、参加生徒を増やしていく」としている。

建築学科で

内装工事の体験学習を実施しました

2024年(令和6年) 6月5日 水曜日

南 信 州 新 聞

飯田OIDE長姫
高校建築学科3年の
26人は5月31日、県
建設室内工事業協会
の協力で内装工事の
体験学習を校内で実
施した。壁や天井の
下地になる鋼材や石
こうボードの張り付
けなどを通じ、座学
では分からぬ建築
の作業手順や魅力を
生で体験した。

協会は昨年度か
ら、高校生向けの体
験会を実施してい
る。人口減による建
築に携わる人材の不
足を踏まえ、実際に
一

テックナガイの従
員ら17人が来校。
徒たちは、作業に
わるプロの専門家
講師に、実際の工
に使用する材料を
用して内装工事を
験した。

業、内装工事を将来の選択肢に入れてもうることを目的にしている。作業で使用した両切創手袋や防じんマスクは協会が用意した。

るグループでは、水平に引かれた線から垂直の寸法を取り、鋼材を切断して取り付ける作業を体験。生徒たちは、インパクトドライバーで鋼材を固定したり、防護ゴーグルを着けて

社の中山雄介社長は「内装業体験を通じて建設業に关心を持つもらい、将来の選択肢の一つにしてくれたらうれしい」と語っていた。

様子を見守った同

つた。

座学で学べない建設業の魅力

専門家の協力で内装工事体験



飯田OLDE長姫高で開かれた内装業体験学習

寸法通りに鋼材を切断したり、天井をつる金具を取り付けたりと、指導に沿つて丁寧に作業を

建築学科3年生、プロの技を学ぶ！

ラグビー部 7人制で2年連続全国大会へ

「プレーを楽しんできて」

飯田OID E長姫高校同窓会は13日、全国高校7人制ラグビー大会(7月21日、菅平高校)、原スポーツランドサンニアパーカ菅平)に出席する同校ラグビー部を訪ね、激励会を開いた。ラグビー部は4月20日の県予選決勝で飯田高校に勝ち、初出場だった昨年に続き、2年連続の出場を決めた。

飯田OID 役同窓会会长は「2回目というのは実力がある証。昨年は硬くなつた面があったかもしれないが、楽しんでプレーし、笑顔で帰ってきてほしい」と言葉を贈った。

部員たちは須山和彦同窓会会长は「昨年は悔しい思いをした。そこから1年間、フィジカルと技術面を磨いてきた。まずは1勝を目指して頑張る」と力強く語った。

部員はマネジャーを含む44人。このうち8人が昨年の大会を経験している。7人制は15人制と同じコートで戦うため、一人一人のフィジタルと技術力が問われるという。昨年の経験を糧に選手を代表して西

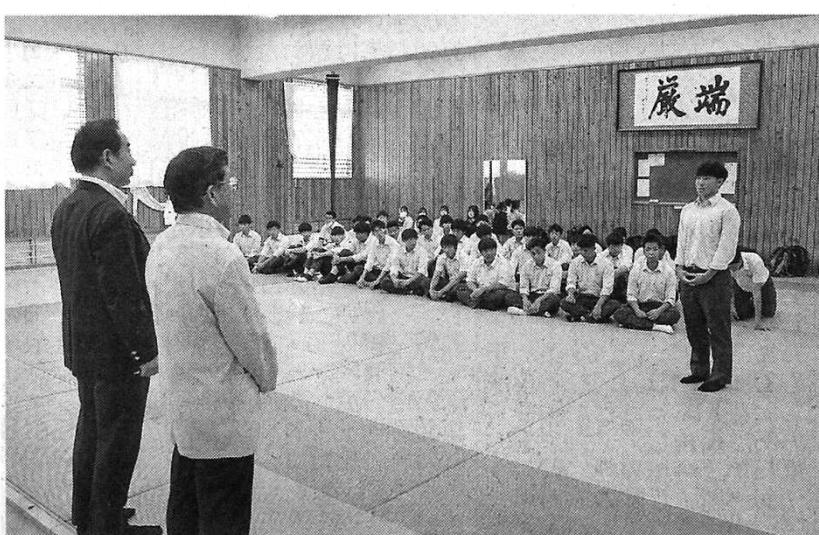
村成さん(17)は「昨年は悔しい思いをした。そこから1年間、フィジカルと技術面を磨いてきた。まずは1勝を目指して頑張る」と力強く語った。

「昨年末は花園にも出場し、今年も7人制の全国大会へ出場する。日々の研さんたまものだ。地域の期待は大変大きい。活躍を」と願った。

トレーニングと技術の練習を組み合わせ、個人でも体重を増やしてパワーアップを行った。

7月21日に開会式、22~24日に試合

全国大会出場のラグビー部激励



同窓会が飯田OIDラグビー部を激励

令和5年度後期 技能検定(国家検定)

シーケンス制御2級・3級 13人合格

2024年(令和6年) 6月23日 日曜日

南信州新聞

飯田OIDE長姫高校の電気電子工学科の13人が、国家検定「シーケンス制御作業」の2級・3級に合格し21日、宮澤直哉校長に報告した。報告会で宮澤校長は「(合格は)皆さんも頑張ったので正直びっくりした。次の取得に向け励みになる」と笑顔で話している。

シーケンス制御は、あらかじめ定められた順序に従つて各段階を逐次実行していく制御で、エレベーターや信号機、自動販売機など身の回りにある多くの機器の制御に使われている。

資格取得には、実技と筆記の両試験の合格が必要。実技は、指示された仕様に基づいて配線作業を行い、回路を完成させた後にプログラムを入力し、仕様通りに動作させる。生徒たちは放課後の補



シーケンス制御作業に合格した生徒たち

「上級資格にも挑戦したい」

OIDE長姫高

シーケンス制御作業に13人合格

修や自習を重ねながら必要なスキルを身に付け、試験に備えた。2年の澤柳楓さんは「(合格は)皆さんも頑張ったので正直びっくりした。次の取得に向け励みになる」と笑顔で話している。

祝

県技能競技大会 3位

2年 澤柳楓さん

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

地域と共に 夢と創造 虹の学校 飯田OIDE長姫高等学校